

深瀬記念文庫

深瀬須加子先生は1999年4月に聖隷クリストファー看護大学（当時）2代目の学長として本学に就任されました。深瀬先生のご尽力により、看護の単科大学であった本学は、2002年度に社会福祉学部、2004年度にリハビリテーション学部と二つの学部を増設し、更にそれらの学部の開設の2年後には社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科を開設することによって3学部3研究科を擁する看護、リハビリテーション、社会福祉の総合大学へと大きく発展しました。

深瀬先生は保健師としての長年の勤務経験と他大学での豊富な教育経験をもとに、就任当初より教職員からの様々な意見に耳を傾け、それらを尊重しつつ、一方で大学経営を十分に踏まえながら本学の進むべき方向を示し、新しい歴史を切り開いてくださいました。

2006年度より、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学の三つの分野を一つにした博士後期課程保健科学研究科の設置が具体的な検討に入りました。この博士後期課程は、それぞれの学問分野をより高度に、より深く教授研究しつつ、保健・医療・福祉の場において各分野の専門職者が連携・協働する中でリーダーシップを発揮できる高度専門職業人の育成を目指すもので、聖隷学園の重要な事業計画であり、深瀬先生の夢の実現でもありました。深瀬先生を中心に準備が開始されたこの計画は、2007年12月に文部科学大臣より設置認可され、2008年4月から開設する運びとなりました。

2007年3月、深瀬先生は8年間務められた学長職を退任されるにあたり、この「保健科学研究科」のために、専門図書をもっと充実したものになりたい、また同時に一般教養についても蔵書を増やしたいとの思いから、聖隷学園に1,037万円をご寄付くださいました。この志に深謝し、大学として専門図書886点、一般教養図書247点、書架1台を選定し、購入することと致しました。

深瀬須加子先生のご功績を記念し、また本学の学生・教職員に末永く利用されることを願い、ここに「深瀬記念文庫」を設置致します。

2007年12月19日 学校法人 聖隷学園
理事長 長谷川 了